

TOSHIBA

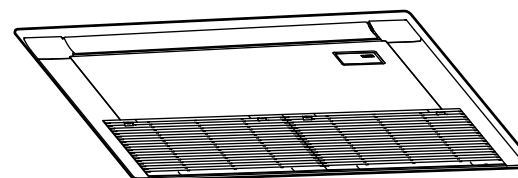
東芝パッケージエアコン 取扱説明書



EH99973001

R32冷媒機種

業務用



天井カセット形 <1方向吹出しタイプ>

形 名	AIU-GP401SH	AIU-GP711SH
室内ユニット	AIU-GP451SH	AIU-GP801SH
組合せ室外機は カタログをご覧ください。	AIU-GP501SH	
	AIU-GP561SH	
	AIU-GP631SH	

形 名(別売品)	ワイヤード
リモコン	RBC-AMSU* (省エネneoリモコン) 詳細設定はリモコンに付属している取扱説明書をご覧ください。
	ワイヤレス
	RBC-ATX41 (ワイヤレスリモコン)、 RBC-AXRU41C (受信部) ワイヤレスリモコン RBC-ATX41 組合せのときは、リモコンに付属している取扱説明書をご覧ください。

形 名(別売品)	RBC-US21PG(W)-1
パネル	

- このたびは東芝パッケージエアコンをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書と室外機に付属されている取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
また、お使いになる方が代わられた場合は必ず本書をお渡しください。
- 据付説明書を販売店または工事店から必ず受け取って保存してください。
- 本説明書は、RBC-AMSU52リモコンを接続した場合の操作方を記載しています。RBC-AMSU52以外のリモコンを接続する場合は、リモコンに付属の説明書をご覧ください。

もくじ


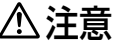
安全上のご注意	2
リモコン各部のなまえとはたらき	4
各部のなまえ	5
正しい使いかた	6
タイマー運転	7
オートグリルの操作方法	8
風向調節	9
セーブ運転	10
節約運転	10
乾燥運転	10
グループ接続が行われている場合	11
お手入れ	11
このようなときには	13
知っておいていただきたいこと	13
据付けについて	14
故障診断	14
仕様	15
点検整備について	16
保証とアフターサービス	20

日本国内専用品
Use only in Japan

安全上のご注意




商品本体および取扱説明書には、お使いになる方や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。
次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■表示の説明

表 示	表 示 の 意 味
 警告	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（*1）を負うことが想定される内容”を示します。
 注意	“取扱いを誤った場合、使用者が軽傷（*2）を負うことが想定されるか、または物的損害（*3）の発生が想定される内容”を示します。

*1:重傷とは、失明やけが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
*2:軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。
*3:物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる並大損害をさします。





■図記号の説明

図記号	図 記 号 の 意 味
	○は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
	●は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
	△は、注意を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

⚠ 警告

据付けは、お買い上げの販売店または据付専門業者に依頼する 据付けには専門の知識と技術が必要です。 お客様ご自身で据付けを行うと、火災・感電・けが・水漏れの原因になります。 	自分で分解・改造・修理・移設をしない 火災・感電・けが・水漏れの原因になります。 修理・移設は、お買い上げの販売店または東芝エアコン空調換気ご相談センターへご依頼ください。 
冷媒充填・回収作業については、第一種フロン類充填回収業者に依頼する 冷媒充填・回収作業は専門の知識と技術が必要です。ご自身で作業を行うと冷媒ガスが漏れる原因になります。 	フロン類をみだりに大気中に放出しない フロン類を大気中に放出することは、法律で禁止されています。 
別売品は、必ず弊社指定の製品を使用する 指定以外の製品を使用すると、火災・感電・水漏れなどの原因になります。また、取付けは専門の業者に依頼してください。 	小部屋に据え付ける場合は適用床面積を守り、万一冷媒が漏れても限界濃度を超えない対策を行う 適用床面積・限界濃度を超えない対策については、販売店と相談して据え付けてください。 万一、冷媒が漏洩して限界濃度を超えると酸欠事故や着火の原因になります。 
可燃性ガスが漏れるようなおそれのある場所へ設置しない 万一ガスが漏れてユニットの周囲に溜まると発火・火災の原因になります。 	アース工事が正しくされているか確認する アース工事が不完全な場合は、感電の原因になります。 確認方法については、据付けを行った販売店、または据付専門業者へお問い合わせください。 
長時間冷風をからだに直接当てたり、冷やし過ぎない 体調悪化・健康障害の原因になります。 	アースを確認する 
異常時（焦げ臭い・冷えない・暖まらない・内部に水や異物が入ったなど）は、運転を停止して、電源ブレーカーを切る そのまま使うと、火災・感電の原因になります。 修理をお買い上げの販売店または東芝エアコン空調換気ご相談センターへご依頼ください。 	空気の吹出口や吸込口などから物（金属・紙・水など）を差し込んだり、中に入れたりしない 内部でファンが高速回転していたり、高電圧箇所があるため、けがや感電の原因になります。 

⚠ 警告

エアコンが冷えない・暖まらない場合は、冷媒の漏れが原因のひとつと考えられるので、お買い上げの販売店に相談する 冷媒の追加を伴う修理の場合は、修理内容をサービスマンに確認する エアコンに使用している冷媒は安全です。 冷媒は通常漏れることはありませんが、万一、冷媒が室内に漏れ、ファンヒーター・ストーブ・コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。 冷媒漏れの修理の場合は、漏れた箇所の修理が確実に行われたことをサービスマンに確認してください。 	配管工事が正しく行われているか確認する 既設配管を使用する場合は、正しく施工しないとエアコンが故障したり、冷媒ガスが漏れたりすることがあります。 正しく施工されていることを据付業者に確認してください。 据付けに関することは据付説明書をご覧ください。 R32もしくはR410A用のツール・配管部材を使用してください。 専用の配管部材を使用していなかったり、据付けに不備があると、破裂・けがの原因になります。 
修理は、お買い上げの販売店または東芝エアコン空調換気ご相談センターへ依頼する 修理に不備があると火災・感電の原因になります。 	漏電遮断器（過電流保護機能付き）が正しく取り付けられているか確認する 漏電遮断器が正しく取り付けられていないと、感電の原因になることがあります。確認方法については、据付けを行った販売店、または据付専門業者へお問い合わせください。 

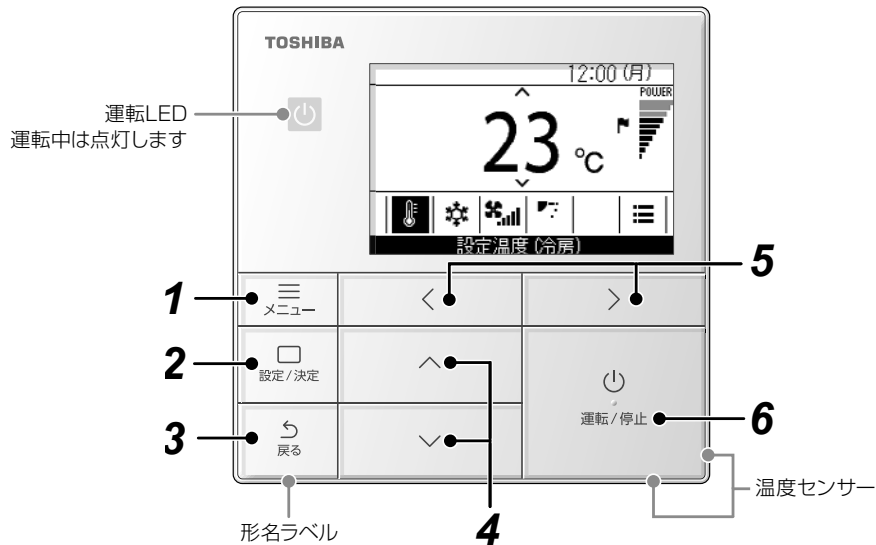
漏電遮断器の確認

安全上のご注意(つづき)

⚠ 注意	
<p>食品・動植物・精密機器・美術品の保存や、船舶・車両などの特殊用途には使用しない 品質低下やエアコンの故障の原因になることがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>エアコンの風が直接当たる場所には動植物を置かない 動植物に悪影響を与える原因になることがあります。</p> <p>禁止</p>
<p>燃焼器具と一緒に運転するときや、密閉した部屋で使用するときは換気をする 換気が不十分な場合は、酸素不足により窒息の原因になることがあります。</p> <p>強制</p>	<p>ドレン配管が、確実に排水するように施工されているか確認する 配管工事に不備があると水漏れを起こし、家財などをぬらす原因になります。</p> <p>ドレン排水を確認する</p>
<p>エアコンの風が直接当たる場所で燃焼器具を使わない 燃焼器具の不完全燃焼により、窒息の原因になることがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>ユニットの上に花びんなどの液体の入った容器を置かない ユニット内部に浸水して電気絶縁が劣化し、感電の原因になることがあります。</p> <p>禁止</p>
<p>エアコン本体を水洗いしない 感電の原因になることがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>お手入れをするときは、必ず運転を停止して電源ブレーカーを切る 内部でファンが高速回転していたり、高電圧箇所があるため、けがや感電の原因になることがあります。</p> <p>強制</p>
<p>室外機の上に乗ったり、物を載せない 落下・転倒などによりけがの原因になることがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>ぬれた手でボタンを操作しない 感電の原因になることがあります。</p> <p>禁止</p>
<p>可燃性スプレーなどをエアコンの近くに置いたり、エアコンに直接吹きかけない 発火の原因になります。</p> <p>禁止</p>	<p>電源は必ず定格電圧でエアコン専用回路にする 故障・火災の原因になることがあります。</p> <p>エアコン専用回路になっているか確認する</p>
<p>1年に1度は、室外機の据付台などが傷んでいないか点検する 傷んだ状態で放置するとユニットの落下・転倒によりけがの原因になることがあります。</p> <p>強制</p>	<p>正しい容量の電源ブレーカーを使用する 電源は必ず定格電圧でエアコン専用の回路をご利用ください。</p> <p>正しい電源ブレーカーを使用する</p>
<p>エアフィルター着脱時、不安定な台に乗らない 転倒などけがの原因になることがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>エアフィルターを水洗いしたあとは、水気をふき取って陰干しする 水気が残っていると感電の原因になることがあります。</p> <p>強制</p>
<p>エアコンのクリーニングはお買い上げの販売店または東芝エアコン空調換気ご相談センターに依頼する 誤った方法で洗浄を行うと、樹脂部品の破損や電気部品の絶縁抵抗不良などが発生して故障の原因となったり、最悪の場合は水漏れ・感電あるいは発煙・発火につながるおそれがあります。</p> <p>指示</p>	<p>蒸気が多く発生するような場所、蒸気を発生させる機器近傍に室内ユニットを設置しない ユニット内蔵部品が結露し、故障するおそれがあります。</p> <p>禁止</p>

リモコン各部のなまえとはたらき

- 操作部**
- このリモコン1台で、室内ユニットを最大16台まで運転することができます。
 - 一度運転内容を設定すると、そのあとは『運転/停止』ボタンを押すだけでご使用になれます。



1 「メニュー」ボタン

「メニュー画面」を表示します。

2 「設定/決定」ボタン

設定の反映や決定などを行います。
使いかたは画面内に表示されます。

3 「戻る」ボタン

選択の取り消しなどを行います。
使いかたは画面内に表示されます。

4 「上」「下」ボタン

設定の変更や項目の選択を行います。

5 「左」「右」ボタン

設定項目の選択をします。
その他の使いかたは画面内に表示されます。

6 「運転/停止」ボタン

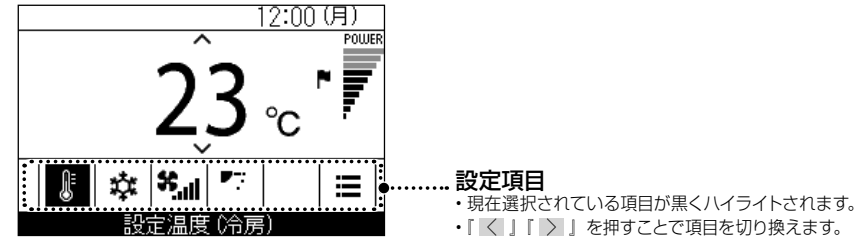
接続している機器の運転と停止を行います。

表示部

表示例は説明のためすべて表示してあります。実際は選択した内容の表示となります。
●電源ブレーカーを最初に入れたとき、リモコンの表示部に「」が点滅します。
この表示中は自動機種確認中ですので「」「」を押すことで設定項目を切り換えて、「」「」を押すことで変更ができます。

■空調機メイン画面

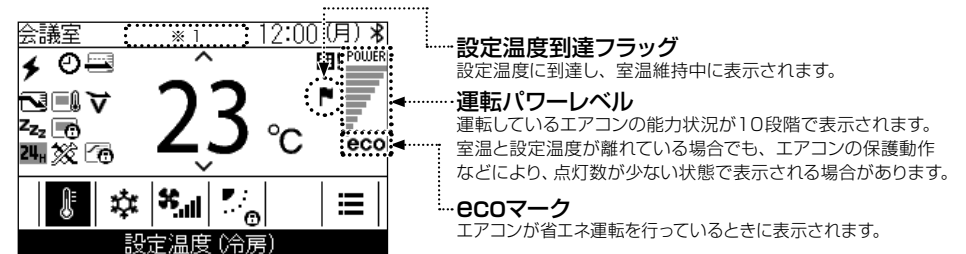
日常的によく使う設定温度・運転モード・風量・風向などの設定を変更または確認する画面です。
画面下部の設定項目の表示により現在の状態を確認できます。
「」「」を押すことで設定項目を切り換えて、「」「」を押すことで変更ができます。



お知らせ

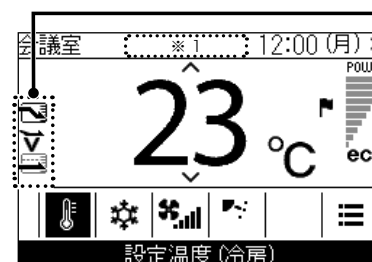
- ・設定温度はメイン画面で変更します。
- ・機種により、設定できない機能や項目は表示されません。
- ・設定を変更中に「 戻る」を押した場合および約 10 秒間ボタン操作がない場合、メイン画面に戻ります。

詳細表示画面（工場出荷時設定）



簡易表示画面

画面に表示される情報を限定した「簡易表示画面」に変更することが出来ます。
詳細は、省エネneoリモコンの据付説明書をご覧ください。

















簡易表示画面では一部のアイコンのみ表示されます。

- ※ 1 「暖房準備中」
「暖房」運転開始時または除霜運転時に表示します。
表示中は室内送風機が停止、または「送風」運転になります。
- 「運転準備中」
機種によって表示する場合があります。
- 「換気準備中」
全熱交換ユニットの待機中に表示します。
表示中は全熱交換ユニットが停止になります。






リモコン各部のなまえとはたらき (つづき)

◆アイコン一覧

	「セーブ運転」が「有効」のときに表示されます。		「タイマー設定」が「有効」のときに表示されます。
	リモコンセンサーを設定したときに表示されます。		「フラップロック設定」が設定されているときに表示されます。
	「室外静音設定」が「有効」のときに表示されます。		フィルターのお手入れ時期になると表示されます。
	集中管理操作ロック中に表示されます。		「ソフト冷房」運転が「有効」のときに表示されます。
	「節約運転」が「有効」のときに表示されます。		運転モードが制限されているときに「運転切換」画面で運転モードを変更する操作を行うと約3 秒間表示されます。
	Bluetooth® 機能が「有効」のときに表示されます。 Bluetooth® 機能についてはBluetooth® 機能取扱説明書をご参照ください。		「空清」（空気清浄）機能が「有効」のときに表示されます。
	点検コードが発生したときに表示されます。		通知コードが発生したときに表示されます。 詳細については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
	設定温度に到達し、室温維持中に表示されます。		エアコンに接続されている市販の換気ユニットが運転中のときに表示されます。

◆換気アイコン一覧

- 換気ユニット接続時のみ表示されます。
- 換気アイコンの詳細については全熱交換ユニットの取扱説明書をご覧ください。

	自動換気		全熱換気		ナイトパージ
	普通換気		24 時間換気		

各部のなまえ

室内ユニット

ツマミ

吸込口を開閉するツマミです。

吹出口・吹出フラップ

冷房時と暖房時で吹き出す風の方向を切り換えてください。

アースねじ

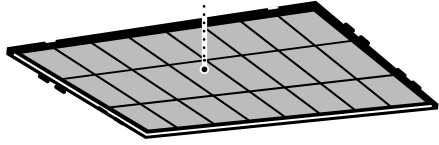
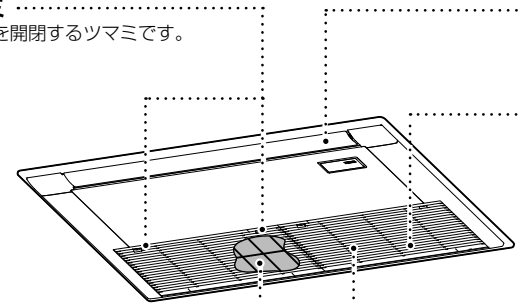
電気部品箱にあります。

吸込グリル

ここから室内の空気を吸い込みます。

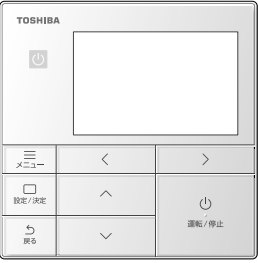
エアフィルター

ホコリやゴミを取り除きます。
(吸込グリルの中にあります。)



別売品

リモコン




- 「集中管理リモコン」などを併用した応用制御については各リモコンに付属の説明書をご覧ください。

正しい使いかた

はじめてお使いのときや設定を変えるときは、次の手順で操作してください。
次回から「運転/停止」ボタンを押すだけで操作した設定内容の運転を開始します。

準備





電源ブレーカーを入れる

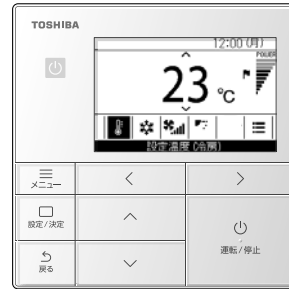
- 電源が入ると、リモコン表示部に「」が表示されます。
- ※電源が入ったあと、約1分間はリモコンが操作を受け付けませんが、故障ではありません。

お願い





- 使用期間中は電源ブレーカーを切らないでください。
- 長期間停止後/運転開始をするときは、12時間以上前に電源ブレーカーを入れてください。

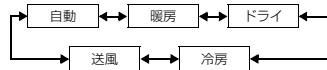
■運転のしかた

- 1 「 運転/停止」を押して運転を開始する
→ 運転LED が点灯します。
- 2 「」「」を押して変更したい項目を選ぶ
→ 以下の項目を変更できます。
設定温度
運転モード
風量
風向
- 3 運転を停止するときは、再度「 運転/停止」を押す



■運転モードを変えるとき

- 1 メイン画面で「」「」を押して「運転切換」画面に切り換える
- 2 「」「」を押して運転モードを選ぶ



お知らせ

室内ユニットの機種により設定できない運転モードは表示されません。

お知らせ

冷房のとき

- 約1分後に運転を開始します。





冷暖自動のとき

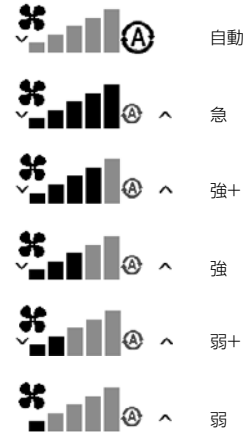
- 設定温度と室温の差によって暖房・冷房運転を自動的に切り換えます。

暖房のとき

- 暖房運転の場合は停止後30秒ほど送風運転を続ける場合があります。
- 暖房運転開始時、室内送風機は停止したままで3～5分間予熱運転したあと、温風を吹き出します。(リモコン表示部の「暖房準備」表示が点灯します。)
- お部屋の温度が設定温度に達して室外機が停止しているときは、微風となり風量が極端に小さくなります。

■風量を変えるとき







- 1 メイン画面で「」「」を押して「風量切換」画面に切り換える
- 2 「」「」を押して風量を選ぶ



お知らせ

- 運転モードが「送風」のときは、「自動」を選べません。
- 設定できる風量は、接続される室内ユニットにより異なります。

■設定温度を変えるとき

- 1 メイン画面で「」「」を押して「設定温度」画面に切り換える
- 2 「」「」を押して設定温度を変更する
→ 設定温度は「」を押すと上がり、「」を押すと下がります。

おすすめの設定温度

暖房	22～24℃
ドライ	室温より2～3℃低め
冷房	26～28℃



お知らせ

- 設定できる設定温度の範囲は、省エネ neo リモコンの取扱説明書の設定温度範囲制限をご覧ください。
- 「クール（ウォーム）ピズ設定」時は設定温度範囲が制限されます。
- 「送風」時は設定温度の変更ができません。
- 運転モードが「自動」でデュアルセットポイントが設定されている場合は、省エネ neo リモコンの取扱説明書の「自動運転モードで冷房と暖房の設定温度を個別に設定する（デュアルセットポイント）」をご参照ください。

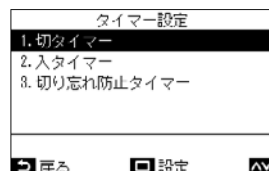
タイマー運転

3つのタイマーの種類が選べます。(168時間の設定ができます)

切タイマー **入タイマー** **切り忘れ防止タイマー**
設定時間になると運転を停止します。 設定時間になると運転を開始します。 毎回、設定時間後運転を停止します。

■タイマーの種類を選択

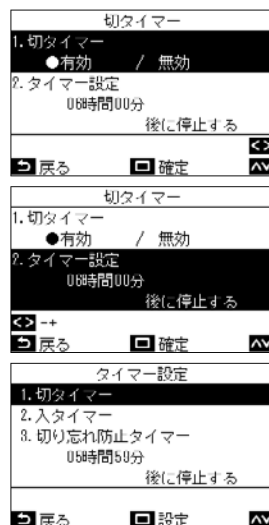
- 1 「メニュー画面」で「タイマー設定」を選んで「☐ 設定/ 決定」を押す
- 2 「」「」を押して設定したいタイマーを選ぶ
- 3 「☐ 設定/ 決定」を押す



■切タイマー

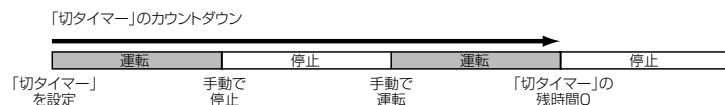
エアコンの運転を停止させるまでの時間をタイマーで設定できます。

- 1 「切タイマー」画面で「」「」を押して「切タイマー」を選ぶ
- 2 「」を押す
→ 「」を押すと設定は解除されます。
- 3 「」「」を押して「タイマー設定」を選ぶ
- 4 「」「」を押して時間を変更する
→ 24 時間までは30 分ごと、24 時間以後は1 時間ごとの設定ができます。
- 5 「☐ 設定/ 決定」を押す
→ 「タイマー設定」画面に戻ります。



お知らせ

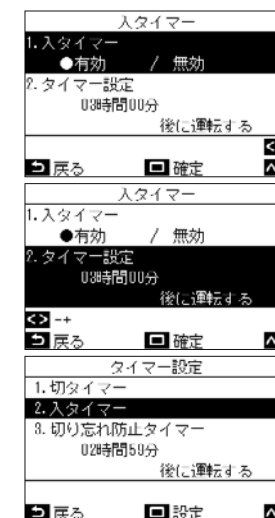
- 「切タイマー」で設定した時間が経過したあとに、エアコンの運転を停止します。
- 「切タイマー」によってエアコンの運転が停止されるまでの間に、エアコンの運転が停止・開始されても「切タイマー」のカウントダウンは継続されます。



■入タイマー

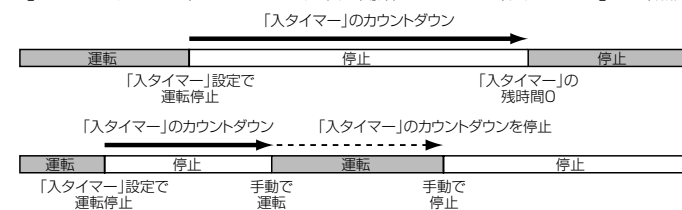
エアコンの運転を開始させるまでの時間をタイマーで設定できます。

- 1 「入タイマー」画面で「」「」を押して「入タイマー」を選ぶ
- 2 「」を押す
→ 「」を押すと設定は解除されます。
- 3 「」「」を押して「タイマー設定」を選ぶ
- 4 「」「」を押して時間を変更する
→ 24 時間までは30 分ごと、24 時間以後は1 時間ごとの設定ができます。
- 5 「☐ 設定/ 決定」を押す
→ 「タイマー設定」画面に戻ります。




お知らせ

- 「入タイマー」で設定した時間が経過したあとに、エアコンの運転を開始します。
- 「入タイマー」を設定した時点で、エアコンの運転を停止します。
- 「入タイマー」のカウントダウン中にエアコンの運転を開始したときは、「入タイマー」は「無効」になります。



「切タイマー」「入タイマー」動作について

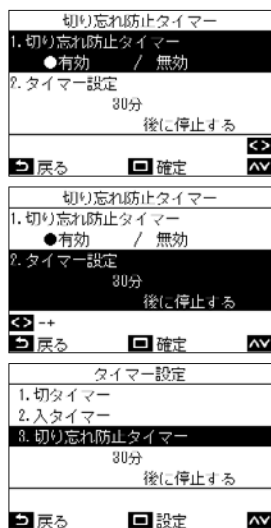
- 「切タイマー」「入タイマー」は1回のみの有効です。
- 以下の場合は「切タイマー」「入タイマー」は動作しません。
「切タイマー」「入タイマー」無効中・機能設定中・集中管理中（「運転 / 停止」が禁止の場合）
- リモコンが2台接続されている場合、「子リモコン」での設定はできません。
- 「切タイマー」「入タイマー」の設定範囲は、最小30分から最大168時間（7日）までです。
- 「 戻る」を押すと、変更は行われず、変更前の状態で「タイマー設定」画面に戻ります。
- 停電時は、「切タイマー」「入タイマー」設定は解除されます。（「無効」になります。）
- 「切タイマー」「入タイマー」が「有効」のとき、詳細表示画面に「」が表示されます。

タイマー運転(つづき)

■切り忘れ防止タイマー

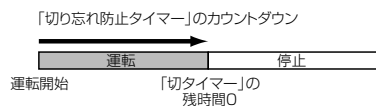
エアコンの運転開始から停止するまでの時間をタイマーで設定できます。

- 1 「切り忘れ防止タイマー」画面で「」「」を押して「切り忘れ防止タイマー」を選ぶ
- 2 「」を押す
→ 「」を押すと設定は解除されます。
- 3 「」「」を押して「タイマー設定」を選ぶ
- 4 「」「」を押して時間を変更する
→ 10 分ごとに設定ができます。
- 5 「 設定/決定」を押す
→ 「タイマー設定」画面に戻ります。



お知らせ

- エアコンの運転を開始すると、設定した時間が経過したあと、エアコンの運転を停止します。



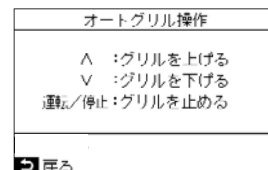
- 以下の場合は「切り忘れ防止タイマー」は動作しません。
「切り忘れ防止タイマー」無効中・異常中・試運転中・機能設定中・タイマー設定中・集中管理中(「運転/停止」が禁止の場合)。
- リモコンが2 台接続されている場合、「子リモコン」での設定はできません。
- 「切り忘れ防止タイマー」の設定範囲は、最小 30 分から最大 240 分までです。
- 「 戻る」を押すと、変更は行われず、変更前の状態で「タイマー設定」画面に戻ります。
- 「切り忘れ防止タイマー」が「有効」のとき、詳細表示画面に「」が表示されます。

8

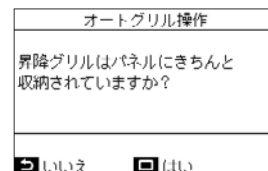
オートグリルの操作方法

(別売のオートグリルキットを取り付けてある場合)

- オートグリルの操作(下降・停止・上昇)を行うとき、操作ボタンを押してから、オートグリルが下降・停止・上昇するまで数秒の時間がかかります。
- オートグリルについての詳しい説明は、オートグリルキットに付属されている取扱説明書をご覧ください。
- ワイヤレスリモコンからも昇降の操作が可能です。詳しくはリモコンに付属されている取扱説明書をご覧ください。



- 1 「メニュー画面」で「オートグリル操作」を選んで「 設定/決定」を押す
- 2 「」「」を押してオートグリルの上昇/下降を行う
→ 「 運転/停止」を押すとオートグリルは停止します。
- 3 「 戻る」を押す



- 4 オートグリル画面で「 設定/決定」を押す
→ 「」が表示されたあとに「メニュー画面」に戻ります。
→ 「 戻る」を押すと、「オートグリル操作」画面に戻ります。

- 運転中に「オートグリル操作」を選択すると、運転は停止します。
- オートグリルキットを取り付けていない場合、「本機種では設定できません。」が表示されます。
- オートグリルについての詳しい説明は、オートグリルキットに付属されている取扱説明書をご覧ください。
- グループ接続が行われている場合は、11 ページの「グループ接続が行われている場合」をご覧ください。

風向調節

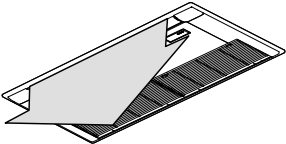
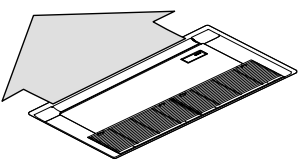
冷暖房効果を高めるために、吹出フラップは冷房運転と暖房運転で必ず使い分けてください。
空気の特徴として冷たい空気は下に溜まり、暖かい空気は上に溜まります。

冷房運転時

吹出フラップを水平吹き出ししてお使いください。

暖房運転時

吹出フラップを下吹き出ししてお使いください。



注意

冷房運転時はフラップを水平吹き出しの状態にする
下吹き出しの状態では冷房運転すると、吹出口やフラップの表面に
露が付き、滴下する原因になります。

お知らせ

●水平吹き出しの状態では暖房運転すると、お部屋の
温度ムラが大きくなることがあります。

●停止時には吹出フラップが自動的に閉じます。
●暖房運転開始時や除霜運転時または室温サーモOFF時にはフラップが水平になります。また、このとき
にスイングや風向きの設定をした場合、リモコン表示は設定内容となりますが、フラップは水平のまま
動きません。温風を吹き出す通常の暖房運転を開始すると、吹出フラップは設定した風向きになります。

空気の特徴として
冷たい空気は下に溜まり、
暖かい空気は上に溜まります

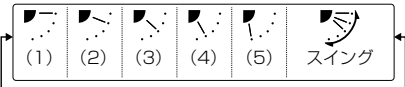
■風向きを設定するときは



* スイング中の表示

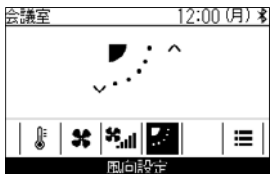
1 メイン画面で「」「」を押して「風向設定」画面に切り換える

2 「」「」を押して風向を選ぶ

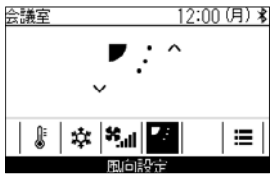


運転モード	設定可能角度
暖房・送風・自動（暖房）	(1)、(2)、(3)、 (4)、(5)、スイング
冷房・ドライ・自動（冷房）	(1)、(2)、(3)、スイング

■スイング解除



* スイング（上下）を解除したときの表示
「送風」「暖房」



* スイング（上下）を解除したときの表示
「冷房」「ドライ」








お知らせ

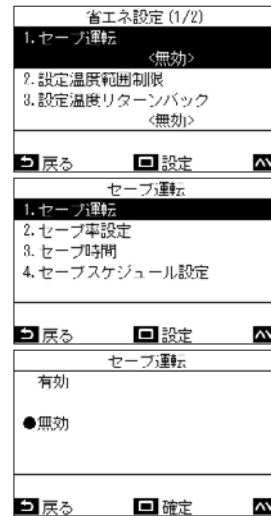
- 運転モードが「冷房」または「ドライ」のとき、水平フラップは下向き（4）（5）の位置では停止しません。（4）（5）の位置でスイングを止めた場合は、（3）の位置まで動いてから停止します。
- グループ接続が行われている場合は、11ページの「グループ接続が行われている場合」をご覧ください。

- 1 スイング運転中に「」「」を押して「風向設定」画面に切り換える
- 2 「」「」を押して風向を選ぶ
「」または「」を押す
→ フラップは「」または「」を押したときの位置で停止します。
→ スイングを解除したときの表示中に「」を押すとフラップは「冷房」「ドライ」のとき風向（3）、「送風」「暖房」のとき（5）、「」を押すとフラップは（1）の位置になります。








セーブ運転

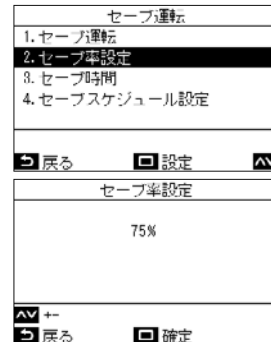
省エネを目的とした設定ができます。

- 1 「メニュー画面」で「省エネ設定」を選んで「 設定/ 決定」を押す
- 2 「」「」を押して「セーブ運転」を選んで「 設定/ 決定」を押す
- 3 「」「」を押して「有効」または「無効」を選ぶ
→ 「セーブ運転」を開始する場合は「セーブ率設定」「セーブ時間」「セーブスケジュール設定」を設定してください。
- 4 「 設定/ 決定」を押す




■セーブ率設定







- 1 「セーブ運転」画面で「」「」を押して「セーブ率設定」を選んで「 設定/ 決定」を押す
- 2 「」「」を押して数値を変更する
→ 任意セーブ率は、50～100%の範囲で、1%刻みで設定できます。数値が低いほど省エネ効果が高い運転を行います。
- 3 「 設定/ 決定」を押す
→ 「」が表示されたあとに「セーブ運転」画面に戻ります。

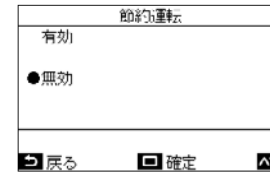
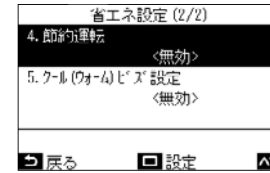



お知らせ

- 「セーブ運転」ではエアコンの能力を抑えた運転になりますので、よく冷えない（暖まらない）ことがあります。
- リモコンが2台接続されている場合、「子リモコン」での設定はできません。
- 「セーブ運転」設定の前に「時計設定」を行ってください。
- 集中管理機器や室外機の設定によっては、リモコンで設定できない場合があります。
- 時計が点滅している（未設定）ときは、セーブスケジュール運転を行いません。
- 任意セーブ率100%は、通常運転となります。
- 「セーブ運転」が行われているとき、表示画面に「」が表示されます。

節約運転

- 1 「メニュー画面」で「省エネ設定」を選んで「 設定/ 決定」を押す
- 2 「省エネ設定」画面で「」「」を押して「節約運転」を選んで「 設定/ 決定」を押す
- 3 「」を押して「有効」を選ぶ
→ 「無効」を選ぶと設定されません。
- 4 「 設定/ 決定」を押す
→ 「省エネ設定」画面に戻ります。

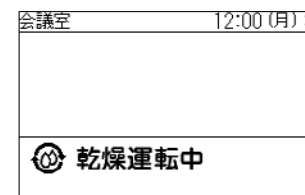


- 過去20分間の平均化された室温・風量・外気温度などのデータから室内の快適性を判定し、快適性が大きく変動しない範囲内で設定温度を自動補正して節約運転をします。
- 自動補正の温度範囲は「冷房時：+ 1.5℃ ～ - 1.0℃」「暖房時：- 1.5℃ ～ + 1.0℃」です。リモコンの設定温度表示は変わりません。
- 節約運転をしているときには、リモコン表示画面に「」が表示されます。
- 冷暖自動運転および冷房・暖房運転のときに節約運転をします。
- 2リモコンで使用している場合、子リモコンでの設定はできません。

乾燥運転

自動（冷房）・ドライ・冷房運転を停止したときに、送風運転によりエアコンの内部を乾燥させ、きれいな状態に保つための機能です。

- 自動（冷房）・ドライ・冷房時は運転時間により乾燥運転の時間が変わります。
- 乾燥運転中は下の画面表示になります。



自動(冷房)・ドライ・冷房運転時間	乾燥運転時間
10分未満	乾燥運転は行いません
10分以上1時間未満	1時間
1時間以上	2時間

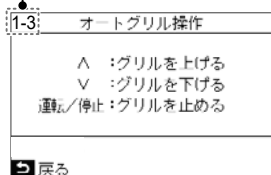
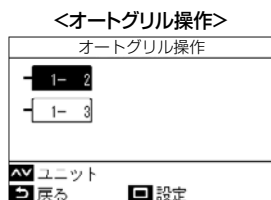
乾燥運転を強制的に停止するときは、『運転 / 停止』ボタンを押して3秒以上運転したあと、もう一度『運転 / 停止』ボタンを押す

お知らせ

- 運転を停止するために『運転 / 停止』ボタンを押してもファンが回り続けることがあります。これは乾燥運転を行っているためで故障ではありません。また、乾燥運転中はフラップが水平位置になります。乾燥運転が終了するとフラップは閉じます。
- 乾燥運転中は運転ランプ（LED）は消灯します。
- 乾燥運転は、お部屋をきれいにしたり、すでに発生しているエアコン内部のカビやホコリを取ることはできません。
- 乾燥運転を解除したい場合は、販売店または据付業者にご相談ください。

グループ接続が行われている場合

複数台の室内機を1つのグループとして接続し、このグループに接続された1台または2台のリモコンでグループ内の室内機を操作することができます。
グループ接続の場合は「風向設定」「オートグリル操作」を各ユニットごとに設定できます。
以下の手順で各ユニットの設定を行ってください。



- 1 <風向設定>**
メイン画面で「」「」を押して「風向設定」画面に切り換え、「 設定/決定」を押す
<オートグリル操作>
「メニュー画面」で「オートグリル操作」を選んで「 設定/決定」を押す
- 2 「」「」を押してユニットを選択する**
- 3 「 設定/決定」を押す**
→ 「 設定/決定」を押すと、各ユニットの設定画面が表示されます。
 - ・左上に選択したユニットNo. (アドレス)が表示されます。「オートグリル操作」で「全ユニット」を選択した場合は、表示されません。
- 4 下記を参照して各ユニットの設定を変更する**
「風向調節」(9ページ)
「オートグリルの操作方法」(8ページ)
- 5 「 戻る」を押す**
→ 「 戻る」を押すと前の画面に戻ります。
→ 「オートグリル操作」の場合は「 戻る」を押すと「」が表示されます。

お手入れ

自動(冷房)・冷房・ドライ・暖房運転後は乾燥運転を行うことがあり、この場合送風ファンが動いています。
お手入れは、乾燥運転を強制終了させ、必ず電源ブレーカーを切ってから行ってください。

お願い

- アルコール・ベンジン・シンナー・ガラスクリーナー・みがき粉などは使用しないでください。製品を傷めます。
- 次亜塩素酸ナトリウムは使用しないでください。金属部に腐食を起こすおそれがあります。
- 化学ぞうきんでこすったり、長時間接触させたままにしないでください。変質したり表面がはがれたりすることがあります。



本体

やわらかい布でからぶきする

- 本体の汚れがからぶきで落ちないときは、40℃以下のぬるま湯ですすいだ布をよくしぼって拭いてください。

長期間使わないとき

- 1 乾燥運転とは別に1～2時間送風運転をして内部を乾燥させる。**
- 2 リモコンの「 運転/停止」ボタンを押し、運転を停止して、漏電遮断器を切る。**
- 3 エアフィルターのお手入れをする。**

リモコン

やわらかい布でからぶきする

- 水洗いをしないでください。故障の原因となります。

定期的な点検

- 長時間使っていると、熱・湿気・ホコリなどの影響や使用状態により部品が劣化し、故障したり、ドレンの排水が悪くなる場合があります。
- 通常のお手入れとは別にお買い上げの販売店などによる点検整備(有料)をおすすめします。

お願い

- 熱交換器の洗浄は、必ず高圧洗浄で行ってください。洗浄後は、十分に洗い流し、乾燥させてください。
強アルカリ性・強酸性など、洗浄力の強い市販洗浄剤を使用すると、熱交換器の表面処理が侵され、アクア樹脂コーティングの機能が低下するおそれがあります。詳しくは、弊社営業部または、お買い上げの販売店にご相談ください。

お手入れ (つづき)

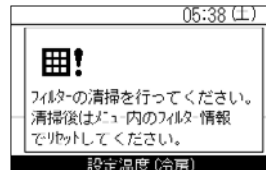
エアフィルター

リモコン画面にフィルターチェックマーク「**田!**」が表示し、フィルター掃除についての目安時間などをお知らせします。(簡易表示画面では表示されません。)

- ・「**田!**」が表示されたときは、必ずフィルターの清掃を行ったあとにリセットを行ってください。
※詳細表示画面への切換えは、省エネneoリモコンの据付説明書をご覧ください。

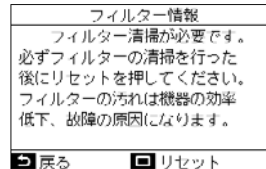


- ・「**田!**」が表示されているときにエアコンを運転すると、「フィルターの清掃を行ってください。清掃後はメニュー内のフィルター情報でリセットしてください。」と表示されます。表示中に操作ボタンを押すか、5秒経過すると表示は消えます。



■フィルターチェックマークが表示されているとき (フィルターチェックのリセット)

- 1 「メニュー画面」で「フィルター情報」を選んで「☐ 設定/ 決定」を押す
- 2 「☐ 設定/ 決定」を押す



⚠ 注意

エアコンを水洗いしない
感電の原因になります。



禁止

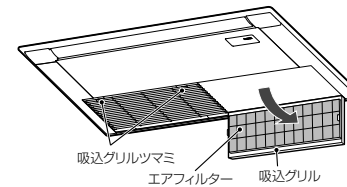
ぬれた手でスイッチを操作しない
感電の原因になります。



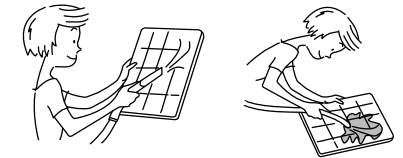
禁止

エアフィルター (つづき)

- 1 吸込グリルを開ける
● 吸込グリルのツマミを後側 (開OPEN) に押し、しずかに開きます。

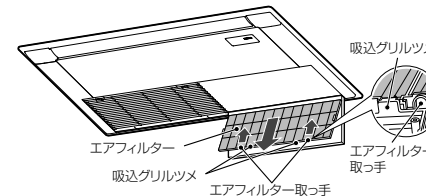


- 3 ホコリを掃除機で吸い取るか水洗いする
● 汚れのひどいときは、中性洗剤を溶かしたぬるま湯か水で洗うと効果があります。

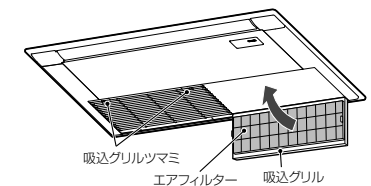


- 水洗いしたあとは、日陰でよく乾かしてください。

- 2 エアフィルターを取り出す
● エアフィルターの取っ手を押し、吸込グリルのツメをはずします。エアフィルターを手前に引くと取り出せます。



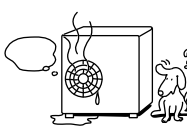


- 4 エアフィルターを取り付け、吸込グリルを閉じる
● 吸込グリルを閉じ、ツマミを手前側にスライドさせて確実に固定してください。



- 5 リモコンでフィルターチェックのリセットをする

このようなときには

修理サービスをお申しつける前に次の点をお調べください。

故障ではありません		症 状	原 因
故障ではありません		室外機 <ul style="list-style-type: none"> ●白い霧状の冷気や水が出る ●時々“ブシュ”という音がする ●電源投入時“カタカタカタ”という音がする 	<ul style="list-style-type: none"> ●自動的に室外機のファンが停止し、除霜を行っているためです。 ●除霜運転開始、および終了時に電磁弁が作動する音です。 ●室外機が運転準備している音です。
		室内ユニット <ul style="list-style-type: none"> ●時々“シュー”という音がする ●“ピシッ”という音がする ●吹き出す風が臭う ●運転停止してもファンが回転している 	<ul style="list-style-type: none"> ●運転中や停止直後などに水の流れるような音や、運転開始直後2～3分間運転音が大きくなる場合がありますが、これは冷媒の流れる音やドレンの排水音です。 ●運転中に、エアコンから“ピシッ”という小さな音がすることがあります。これは温度変化により、熱交換器などがわずかに伸縮するため発生する音です。 ●壁やじゅうたん・家具・衣類・タバコ・化粧品などの雑多な臭いがエアコンに付着しているためです。 ●乾燥運転中は、熱交換器を乾燥させるためにファンが回転しています。(10ページ参照)
もう一度お調べください		運転しない	<ul style="list-style-type: none"> ●停電ではありませんか。 ●電源ブレーカーが切れていませんか。 ●保護装置が作動していませんか。(13ページ参照)(運転ランプとリモコン表示部の点検表示が点滅している。)
		よく冷えない よく暖まらない 	<ul style="list-style-type: none"> ●室外機の吸込口や吹出口をふさいでいませんか。 ●ドアや窓が開いていませんか。 ●エアフィルターにホコリやゴミが詰まっていますか。 ●吹出フラップが適正な位置になっていますか。 ●風量切換が「弱」または運転切換が「送風」になっていませんか。 ●設定温度が適正な温度になっていますか。

以上のことをお調べいただき、それでもなお異常のあるときは運転を停止してから電源ブレーカーを切り、お買い上げの販売店に形名と症状をご連絡ください。また、リモコンの液晶表示部に点検コードが表示されたときは、その内容もご連絡ください。

なおご自分での修理は、危険ですので絶対にしないでください。

次の症状のときはただちに運転を中止し、電源ブレーカーを切ってお買い上げの販売店にご連絡ください。

- スイッチの作動が不確実なとき
- 電源ブレーカーがたびたび切れるとき
- 誤って異物や水を入れてしまったとき
- 13ページの「知っておいていただきたいこと」の保護装置の作動原因を取り除いても運転できないとき
- その他、いつもと違う状態のとき

知っておいていただきたいこと

運転前の確認

- アース線が断線したり、はずれていないか確認します。
- エアフィルターを付け忘れていないか確認します。
- 運転を開始する12時間以上前に電源ブレーカーを入れます。

暖房能力について

- 暖房は室外の熱を吸収し、室内に放熱するヒートポンプ方式です。外気温が下がると、暖房能力は低下します。
- 外気温が低いときは、他の暖房器具と併用してお使いください。

暖房運転中の除霜

- 暖房運転中、室外機に霜が付いた場合、暖房効果を高めるために自動的に除霜運転(約2～10分間)になります。
- 除霜運転中は、室内ユニット・室外機の送風機は停止します。

3分間保護について

- 運転を停止してすぐに再開したときや、電源ブレーカーを入れたときには約3分間、室外機は運転しません。これは機械を保護するためです。

停電について

- 運転中に停電した場合はすべての運転を停止します。
- 運転を再開するときは『運転／停止』ボタンを押しながらおしてください。

保護装置について

- エアコンに無理がかかったときに運転を停止します。
- 保護装置が作動すると、運転が停止し、リモコンの運転ランプとリモコン表示部の点検表示が点滅します。

保護装置がはたらくとき

- 保護装置が作動し、運転を停止した場合は、電源ブレーカーを切り、点検をしてください。原因を取り除かないで運転すると、故障することがあります。
- エアフィルターが取り付けられているか確認してください。取り付けられていないと、空気熱交換器などにホコリが付き、水漏れの原因になることがあります。

冷房運転中

- 室外機の吸込口や吹出口がふさがれているとき。
- 室外機の吹出口に強い風が連続して吹き付けたとき。

暖房運転中

- エアフィルターにホコリやゴミが異常に多く付着しているとき。
- 室内ユニットの吸込口や吹出口がふさがれているとき。

電源ブレーカーは切らないで

- エアコン使用期間中は、電源ブレーカーを切らず、リモコンの『運転／停止』ボタンで操作してください。

テレビやラジオなどを離して

- エアコン本体およびリモコンからテレビやラジオなどを1m以上離してください。映像の乱れや雑音が入ることがあります。

吹出フラップは必ず使い分けて

- 冷房運転のとき下吹き出しの状態で運転すると、吹出口や吹出フラップの表面に露が付き滴下することがあります。

エアコンを上手に使っていただくため、次の条件で運転してください

冷房運転 ドライ運転	部屋の温度	21℃以上 32℃以下	自動運転時の冷房運転・暖房運転もこの条件によります。 この条件以外で運転すると保護装置がはたらき運転できないことがあります。 ●外気温度は室外機に付属の取扱説明書をご覧ください。
	部屋の湿度	80%以下 80%を超えた状態で長時間運転すると機械の表面に露が付き滴下したり、吹出口から露が吹き出すことがあります。	
暖房運転	部屋の温度	28℃以下	

据付けについて

設置場所について

警告

可燃性ガスが漏れるようなおそれのある場所へ設置しない

万一ガスが漏れてユニットの周囲に溜まると発火・火災の原因になります。

禁止

注意

蒸気が多く発生するような場所、蒸気が発生させる機器近傍に室内ユニットを設置しない

ユニット内蔵部品が結露し、故障するおそれがあります。

禁止

- 室内ユニット・室外機から出るドレンは、水はけの良いところへ排水してください。
- 室外機の吸込口・吹出口の近くに障害物を置かないください。放熱が妨げられ性能が低下したり保護装置がはたらき運転ができないことがあります。
- 運転音や振動が他へ伝わったり、増大しないよう、強度が十分な場所をお選びください。
- 室外機の吹出口の近くに障害物を置くと、運転音増大のもととなります。
- 液化炭酸冷却など化学プラントには使用できません。

次のような場所はさけてください

- 酸性またはアルカリ性雰囲気のある場所（温泉地帯・化学薬品工場・すし酢など酸性雰囲気や直接吸い込む場所・燃焼機の排気を吸い込む場所・次亜塩素酸ナトリウムを噴霧する場所など）…熱交換器（アルミフィン・銅パイプ）などに腐食を起こすおそれがあります。
- 切削油などの機械油の立ち込める雰囲気のある場所…熱交換器の腐食・熱交換器目づまりによる霧の発生・フィルター目づまりによる性能低下および結露・プラスチック部品の破損・断熱材のはがれなどを起こすおそれがあります。
- 食用油煙が発生する場所（食用油を使用する厨房、焼肉・お好み焼き店など）…フィルター目づまりによる性能低下および結露、プラスチック部品の破損などを起こすおそれがあります。
- 吹き出しの気流を乱す換気口や照明器具などの障害物が近くにある場所（気流の乱れにより、能力低下や機器の停止のおそれがあります。）
- 電源に自家発電装置を使用している場所…電源周波数・電圧が変動しエアコンが正常に動作しないことがあります。
- クレーン車・船舶など移動するもの
- 特殊用途（食品・動植物・精密機器・美術品の保存など）では使用しないこと（保存物の品質などに損害のおそれがあります。）
- 高周波の発生する機器（インバータ機器・自家発電機・医療機器・通信機器）がある場所（エアコンの誤動作や制御の異常やそれら機器へのノイズによる弊害が生じるおそれがあります。）
- 据え付けた下に、ぬれては困るものがある場所（湿度80%以上のときやドレン口がつまった場合に、室内ユニットから露が滴下し損害が生じるおそれがあります。）

- 有機溶剤を使用している場所
- ドアまたは窓の近くで高湿度の外気と接するおそれのある場所（結露するおそれがあります。）
- 特殊なスプレーを頻繁に使用する場所
- 金属粉などの粉塵が発生する場所には据え付けしないでください。**
金属粉などがエアコン内部に付着・堆積すると自然発熱することがあり、火災の原因になります。

電気配線について

警告

アース工事が正しく行われているか確認する

法律によりD種接地工事が必要です。
アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

アースを確認する

漏電遮断器（過電流保護機能付き）が取り付けられているか確認する

法規上漏電遮断器の取付けが必要です。
漏電遮断器が取り付けられていないと感電の原因になります。

漏電遮断器の確認

注意

正しい容量の電源ブレーカー以外を使用しない

電源は必ず定格電圧でエアコン専用の回路をご利用ください。

正しい電源ブレーカーを使用する

移設について

- パッケージエアコンを移設する場合は専門の技術が必要ですので、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。なお、移設の場合は実費をいただきます。

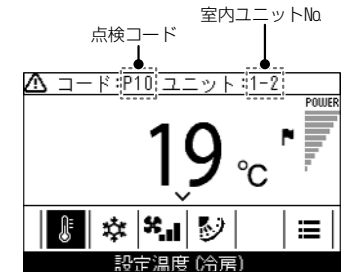
故障診断

確認と点検

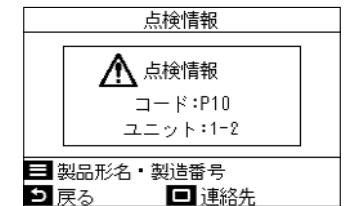
エアコンに不具合が発生した場合、リモコン表示部に点検コードと室内ユニットNo. が点滅表示されます。

*点検コードは運転中のみ表示されます。

点検コードと室内ユニットNo.が表示されているときに「**5** 戻る」を押すと、「点検情報」画面が表示されます。



「点検情報」画面で「**設定/決定**」を押すと、連絡先が表示されます。
「**メニュー**」を押すと、「製品形名・製造番号」が表示されます。



仕様

室内ユニット

室内ユニット形名			AIU-GP401SH	AIU-GP451SH	AIU-GP501SH	AIU-GP561SH
種 類	機 能		冷・暖房兼用形			
	ユ ニ ッ ト 構 成		分離形			
	凝 縮 器 の 冷 却 方 式		空冷式			
	送 風 方 式		直接吹出形			
騒 音	音 圧 レ ベ ル ※1	急 (dB(A))	37		38	
		強+ (dB(A))	36		37	
		強 (dB(A))	35		36	
		弱+ (dB(A))	34		35	
		弱 (dB(A))	32		34	
	音 響 パ ワ ー レ ベ ル ※2	急 (dBA)	52		53	
		強+ (dB(A))	51		52	
		強 (dBA)	50		51	
		弱+ (dB(A))	49		50	
		弱 (dBA)	47		49	
総 質 量 (kg)		20				
外 形 寸 法	高 さ (mm)	200				
	幅 (mm)	1000				
	奥 行 (mm)	710				
	天 井 パ ネ ル 形 名		RBC-US21PG(W)-1			

※1 音圧レベル(SPL) は、JIS B 8616：2006 に準拠した値です。
※2 音響パワーレベル (PWL) は、JIS B 8616：2015に準拠した値です。

室内ユニット形名			AIU-GP631SH	AIU-GP711SH	AIU-GP801SH
種 類	機能		冷・暖房兼用形		
	ユニット構成		分離形		
	凝縮器の冷却方式		空冷式		
	送風方式		直接吹出形		
騒 音	音 圧 レ ベ ル ※1	急 (dB(A))	44	45	
		強+ (dB(A))	42	43	
		強 (dB(A))	40	41	
		弱+ (dB(A))	38	39	
		弱 (dB(A))	36	37	
	音 響 パ ワ ー レ ベ ル ※2	急 (dBA)	59	60	
		強+ (dB(A))	57	58	
		強 (dBA)	55	56	
		弱+ (dB(A))	53	54	
		弱 (dBA)	51	52	
総 質 量 (kg)		21			
外 形 寸 法	高 さ (mm)	200			
	幅 (mm)	1000			
	奥 行 (mm)	710			
天 井 パ ネ ル 形 名			RBC-US21PG(W)-1		

※1 音圧レベル(SPL) は、JIS B 8616：2006 に準拠した値です。
※2 音響パワーレベル (PWL) は、JIS B 8616：2015に準拠した値です。

- 製品は改良のため仕様の一部をすることがあります。
- 室外機と組み合わせたときの冷暖房能力・電気特性は、製品に貼り付けてある装置銘板をご覧ください。
- 組合せ室外機はカタログをご覧ください。
- 地球温暖化係数 (GWP) R32：675

この製品は、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This product is designed for use only in Japan and cannot be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

省エネ法に関する表示について

省エネ法に関する表示については、室外機付属の取扱説明書の別紙《省エネ法に関する表示》をご覧ください。

点検整備について

- ご使用状態によっても変わりますが、エアコンを数シーズンお使いになると内部が汚れ、性能が低下することがありますので、11,12ページの日常のお手入れとは別に点検整備（有料）をおすすめいたします。
- 本製品はドレンポンプを内蔵しています。ご使用状態によっても変わりますが、ポンプが詰まるとドレンの排水ができなくなりますので定期的なドレン皿およびポンプの清掃をおすすめいたします。ドレンポンプの清掃については販売店にご相談ください。

お願い

- **熱交換器の洗浄は、必ず高圧洗浄で行ってください。**
強アルカリ性・強酸性など、洗浄力の強い市販洗浄剤を使用すると、熱交換器の表面処理が侵され、乾燥機能が低下するおそれがあります。詳しくは、弊社営業部または、お買い上げの販売店にご相談ください。

簡易点検のお願い

本製品を所有されているお客様は、フロン排出抑制法により簡易点検が義務付けられています。簡易点検は、3ヵ月に1回以上、右記内容にそってお客様が実施されるかまたは、専門業者へ依頼してください。	簡易点検項目	
	室外機点検	・機器の異常振動・異常運転 ・機器および機器周辺の油のじみ ・機器のキズの有無・熱交換器の腐食・錆など
	室内ユニット点検	・熱交換器の霜付きの有無

点検は、安全で容易に目視ができる場合を除いて、危険な場合は専門業者へ依頼してください。
また、「冷えが悪くなった」「エアコンがきかなくなった」などの状況になりましたら、これらの点検を行うとともに専門業者へお問い合わせください。
簡易点検に関しては、下記サイト内の検索で「簡易点検の手引き」を検索してからダウンロードして詳細を確認してください。環境省ホームページ：http://www.env.go.jp/

点検と保全周期の目安

製品を長く安心してご使用いただくために、正しく使用していただくと同時に定期的な保守点検が必要です。下記に本製品の主な部品の点検周期と保全周期(交換周期)の目安を掲載しておりますので、予防保全を目的とした保守計画を組んで実施してください。(保全周期(交換周期)は、保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。)

主要部品名	点検周期	保全周期（交換周期）
圧縮機	1 年	20,000 時間
モーター（ファン・ルーバー・ドレンポンプ用など）		20,000 時間
電子基板類		25,000 時間
熱交換器		5 年
電子膨張弁		20,000 時間
バルブ（電磁弁・四方弁など）		20,000 時間
センサー（サーミスター・圧力センサーなど）		5 年
ドレンパン（※）		8 年

※建築物衛生法（旧ビル管理法）の対象となる建物にご使用の場合は、定期的な点検が必要となります。


- 注1 本表は次の使用条件が前提となります。
- ・ 頻繁な運転・停止のない、通常のご使用状態であること
(機種により異なりますが、通常のご使用における運転・停止の回数は、6回/時間以下を目安としています。)
 - ・ 製品の運転時間は、10時間/日、2500時間/年としています。
- 注2 本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいてご確認ください。
- 注3 この保全周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、保全行為が生じるまでの目安期間を示していますので、適正な保全設計（保守点検費用の予算化など）のためにお役立てください。
また、保守点検契約の契約内容によっては本表よりも、点検・保全周期と異なる場合があります。
- 注4 「保全周期」および「交換周期」は、使用条件（運転時間が長い、運転・停止頻度が高いなど）や使用環境（高温・多湿など）が厳しくなると短縮する必要があります。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

本製品(パッケージエアコン)は業務用です。
【設計上の標準使用期間】は、家庭用としてご使用された場合を想定して表示しています。

■ **本体への表示内容**
経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために、電気用品安全法で義務付けられた右の表示を本体の銘板近傍に行っています。

【製造年】 本体の銘板の中に西暦4桁で表示してあります。



【設計上の標準使用期間】 10年
設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

- **設計上の標準使用期間とは**
- 運転時間や温湿度など、以下の標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
 - 設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、一般的な故障を保証するものでもありません。

■ 標準使用条件 日本冷凍空調工業会自主基準による

環境 条件	電 源 電 圧		冷 房	暖 房
	周 波 数		製品の定格電圧による	
	室内	温 度	27℃(乾球温度)	20℃(乾球温度)
		湿 度	47%(湿球温度19℃)	59%(湿球温度15℃)
	室外	温 度	35℃(乾球温度)	7℃(乾球温度)
		湿 度	40%(湿球温度24℃)	87%(湿球温度6℃)
負荷 条件	設置条件		製品の据付説明書による標準設置	
	住宅		木造平屋、南向き和室、居間	
	部屋の広さ		製品能力に見合った広さの部屋(畳数)	
想定 時間	1年間の使用日数(東京モデル)		6月2日から9月21日までの 112日間	10月28日から4月14日までの 169日間
	1日の使用時間		9時間/日	7時間/日
	1年間の使用時間		1,008時間/年	1,183時間/年

- 設置状況や環境、使用頻度が上記の条件と異なる場合、または、本来の使用目的以外でご使用された場合は、設計上の標準使用期間より短い期間で経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

冷媒漏えい検知について


本製品を所有されているお客様に対して、冷媒漏えい発生時に、ご登録いただいたユーザー管理者様へ直ちにメール通知するサービス(※)を提供しております。(2024 年4 月提供予定)
本サービスのご利用には遠隔監視契約(有償)が必要で、ご利用できない室外機もありますので、詳細については弊社営業担当までお問い合わせください。
※：本サービスは、JRA GL-17「業務用冷凍空調機器の常時監視によるフロン類の漏えい検知システムガイドライン」に適合しています。

〈フロン排出抑制法による冷媒管理のお願い〉

- フロン類をみだりに大気中に放出することは禁じられています。
- この製品は地球温暖化防止のため、適正にフロン類を回収する必要があります。
- フロン類の種類およびGWP（地球温暖化係数）

種類	冷媒番号	GWP
HFC	R32	675

- システム全体でのフロン類に関する種類および数値は、室外機に表示されています。
- エアコンを廃棄・整備するときは、都道府県に登録された第一種フロン類充填回収業者にフロン類の回収を依頼してください。



保証とアフターサービス (必ずお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店へご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝エアコン空調換気ご相談センター

お電話・FAXをいただく際には、番号をお確かめのうえ
おかけ間違いのないようにお願いします。

フリーダイヤル
0120-1048-00

修理受付時間：9:00～20:00 (年中無休)

相談受付時間：9:00～20:00 (月～土)

携帯電話・IP電話 03-5326-5038 (通話料：有料)
FAX 0947-32-8018 (通信料：有料)

- ・お客様からご提供いただいた個人情報、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- ・利用目的の範囲内で、当該製品に関連するグループ会社や協力会社に、お客様の個人情報を提供する場合があります。

保証書 (室外機に付属)

- この東芝パッケージエアコンの保証期間は、室外機に付属の保証書をご確認ください。
- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

補修用性能部品の保有期間

- パッケージエアコンの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後9年です。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

フロン排出抑制法に基づく点検実施のお願い

本製品を所有されているお客様は、フロン排出抑制法に基づく点検を実施してください。「点検記録簿」には、機器を設置したときから廃棄するときまでのすべての履歴を記載してください。

費用等点検に関する詳細につきましては、お買い上げの販売店または東芝エアコン空調換気ご相談センターにお問い合わせください。

「点検記録簿」に関しては、下記サイト内にありますので、ダウンロードしてご使用ください。

日本冷凍空調設備工業連合会のホームページ：http://www.jarac.or.jp/

修理を依頼されるときは

(出張修理になります)

ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、電源ブレーカーを切ってから、お買い上げの販売店にご連絡ください。修理は専門の技術が必要です。修理に際して冷媒を回収するときは、フロン排出抑制法の規程に従ってください。

■保証期間中は

修理に関しては室外機に付属の保証書をご覧ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

■修理料金の仕組み

技術料・部品代・出張料などから構成されています。	
技 術 料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部 品 代	修理に使用した部品代金です。
出 張 料	商品のある場所へ技術者を派遣する料金です。

■ご連絡いただきたい内容

品 名	パッケージエアコン	
形 名		
お 買 い 上 げ 日	年	月 日
故 障 の 状 況	できるだけ具体的に	
ご 住 所	付近の目印なども併せてお知らせください。	
お 名 前	電話番号	訪問希望日

記入されておくと便利です。

お 買 い 上 げ 店 名	
電 話 番 号	電話 ()

日本キヤリア株式会社

〒416-8521 静岡県富士市蓼原336番地

SN:EH99973001